

『不登校支援メタバース』ではない
登校支援メタバースのご提案



「不登校支援×メタバースの実態」

■ 実際の不登校教室の実態

不登校の教室は毎日、何かしら問題のおきる現場。さらにそこには父兄からの問い合わせなども入り人手が足りていません。
また、精神的に課題を抱えているお子さんに登校する場所をオンラインにしたからと、問題が解決されるわけでもなく、オンライン対応の業務が現場で増えるだけ、、、。



課題 1

不登校児は登校をオンラインにしたから来るわけではなかった！

課題 2

講師はオンラインで何をしたら良いかわからない。
※結局授業になってしまい生徒は離れていく

課題 3

実際の校舎にまで登校させてもそこから通常教室に戻せない。

ご提案のポイントと事例

「運用が困難」で、「生徒が来ない」のが現状

オンラインで授業を行うのか、来校させるための支援かが曖昧。
使いこなせる講師も少なく、あいまいな状況で生徒も参加しなくなる。

不登校のお子さんがオンラインになったから
来るわけではない。

何をしたらよいか
わからない。

支援教室から通常教室へと
成長させる方法が困難

失敗している
メタバース支援

なし

メタバース
授業

不登校解消

ご提案
不登校支援

STEP1

自己肯定感を育
む仕掛け

存在価値を認め
てあげる

STEP2

いつでも教室とつな
がれる環境。

孤独の解消、学校から
離れすぎると教室に戻
りにくくなる。

STEP3

オンラインで心を
ひらける環境を作る。

人との交流を実施

STEP4

オンラインで団体
活動の実施。

社会に戻るリハビリ

STEP5

登校しやすいき
っかけづくり。

心理的安全性の
高い場所を作る。

不登校解消

生徒の心理状況に合わせたステップで進める不登校対策

ステップごとに
役に立つ
ツール



失敗している
メタバース支援



メタバース
授業

不登校解消

不登校支援
メタバース

自信をもってくれる
メタバース

ずっとつながる
メタバース

話をしてくれる
メタバース

みんなと一緒に
メタバース

教室に行きたくなる
メタバース

不登校解消

1

誰ともコミュニケーションせずに
自己肯定感を上げる



誰とも会いたくないを維持しながら
生徒の自己肯定感向上企画ができる。

講師は親と通常通りの連絡をするだけで
新たな手間は無し

2

常に学校とつながれる環境
があるから状況把握ができる



普通の教室の状況がわかるから
数ヶ月後でも登校しやすくなる。

通常授業を360Live配信するだけで
講師の手間の最小限で可能

3

先生と2人きりでオンラインで
メタバースに入らないか案内



メタバースのゲーム性や360体験
を口実に約束を取り付ける。

何度が先生と2人でメタバース
に入る体験を行う。

4

先生以外にも参加する
メタバースイベントを案内



友達がいるところでも「スタート」
などを発言できるようになる。

数回目の参加では、自分の
感情を出せるようになる。

5

学校でイベントを行うので
来てみないかと案内



ご父兄と一緒に学校へ
来校。イベントを楽しむ。

定期的な案内の実施
から1人で来れるようになる。

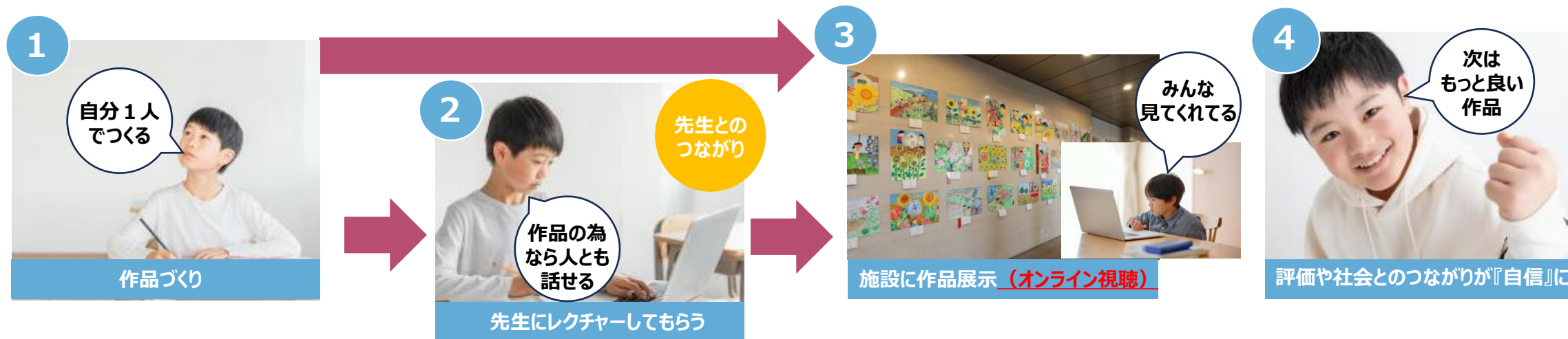
不登校解消

誰とも会いたくない状況下で実施できる 自己肯定感を向上させるイベントの実施

解決内容

自己肯定感の向上
社会とのつながり

引きこもって孤立しがちな不登校児童・生徒が、オンラインで社会とのつながりを感じ、自信を取り戻す活動を実施します。
人との関わりとの中で、自らと向き合い自己肯定感を高める効果も期待できます。



ひとりで作品作りに取り組んだ後、作品作りという名目で先生とオンラインで面談やフォローの実施を行い、コミュニケーションをとります。施設に作品を展示し、自分の作品を鑑賞している様子をオンラインで視聴します。作品を通して社会とのつながりを感じられ、自信を取り戻す一助となります。

『次回は、オンラインではなく展示会場に見において』など、リアルな施設への誘導・支援に繋げることが期待できます。

不登校児の家は親子でのコミュニケーションにも課題があり この問題を解決するメタバース内を一緒に閲覧

家の中でも自室に引きこもりがちな不登校児童・生徒は親子のコミュニケーションが不足していることも。メタバース空間でのコミュニケーションを通して、自然なコミュニケーションがとれるよう促します。親子とのかかわりが正常化することで、**自己肯定感を高める**効果も期待できます。



自室などでひとりで作品作りに取り組んだ後、メタバース空間で作品を展示し、親御様に自分の作品を見てもらいます。作品やメタバース空間の案内を通して親子のコミュニケーションを増やし、やがては日常での自然な会話を増やしていきます。

親子関係の改善により、親子での外出や親御様からの声掛けを通してリアルな施設への誘導・支援に繋げることが期待できます。

先生の運用実現性が高く、不登校児が何度も来ることができる授業開催

学校の授業を360度リアルタイム配信を遠隔で視聴



先生はいつもの授業をそのまま配信するだけで、新たな手間なく不登校支援が可能。

また、生徒さんはいつでも自分次第で教室を見ることができます。

(教室からはわからないように視聴が可能)

このようにいつでも学校を見ていることで次に登校するのが怖くなくなります。

高い効果の実現

今日は友達
何しているのかな？



オンライン授業参加率（不登校）

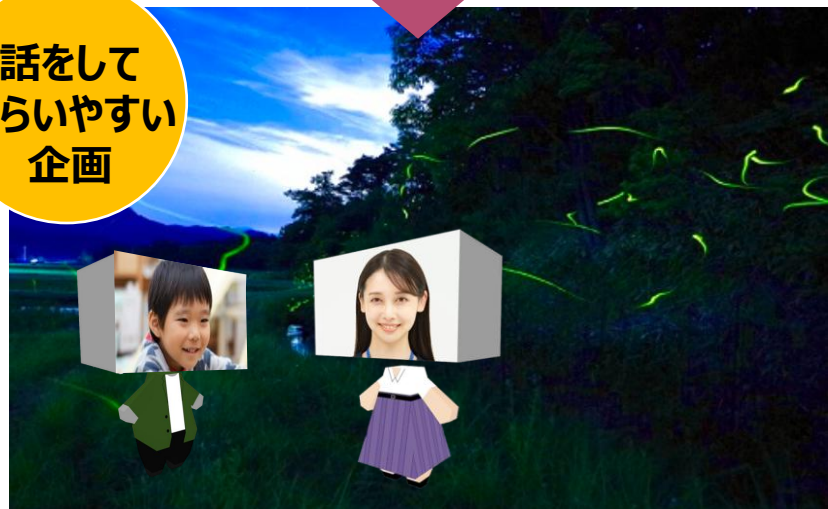


先生の運用実現性が高く、不登校児が何度も来ることができる授業開催

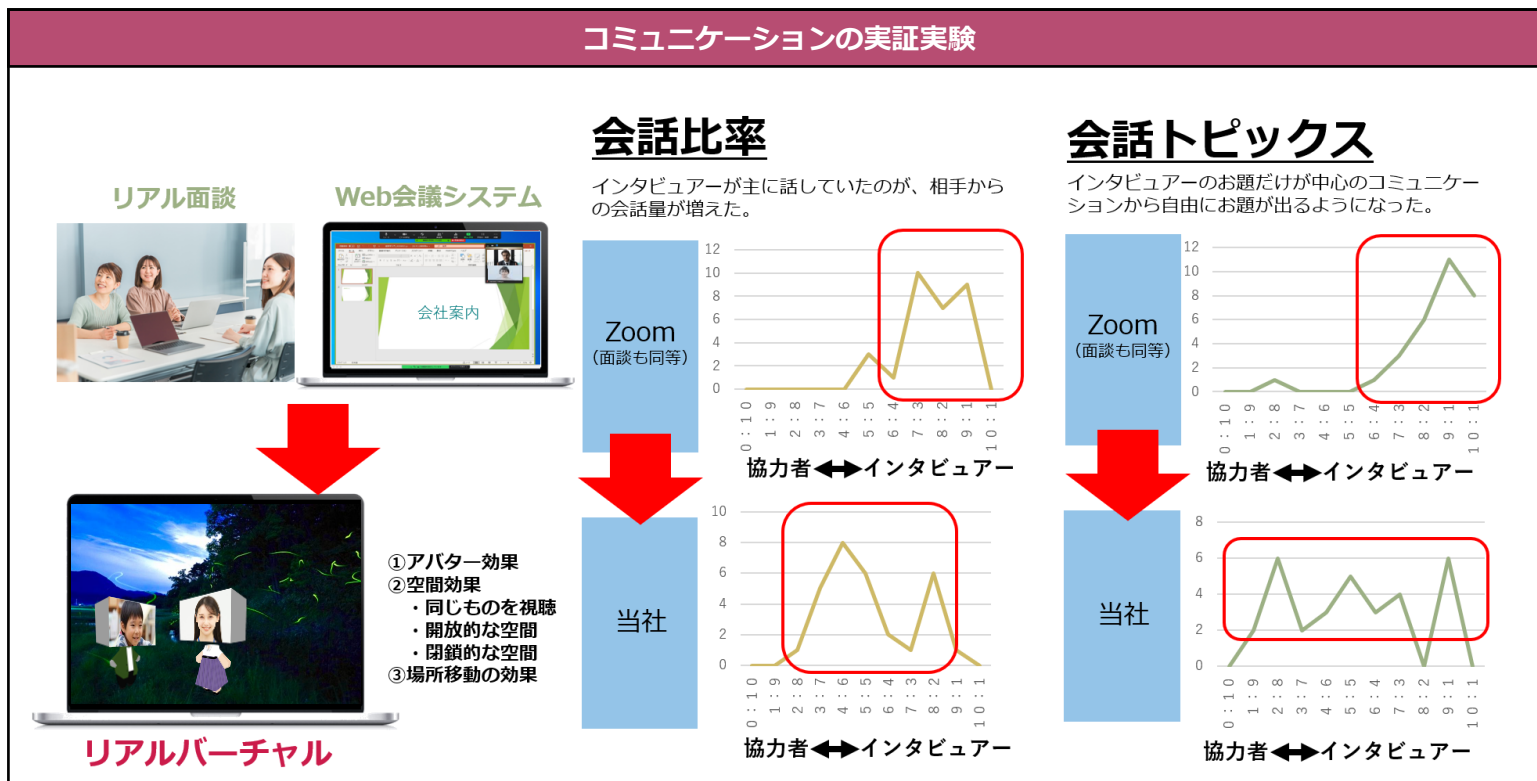
アポが
取りやすい
仕掛け



話をし
てもらいやすい
企画



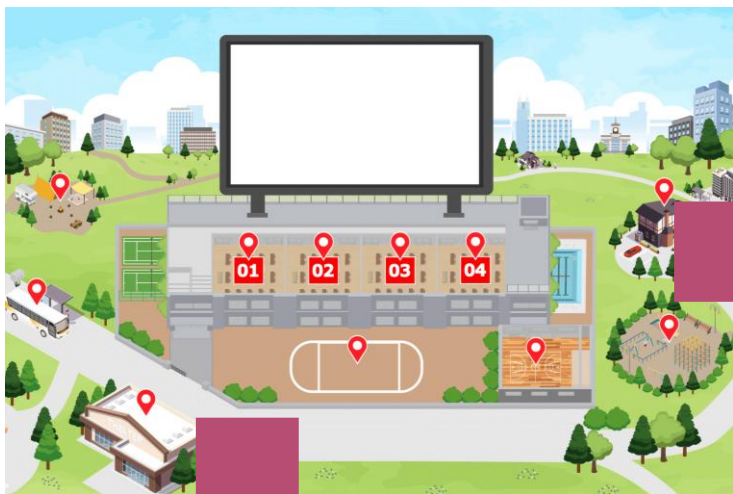
Zoomよりも高い面談率を実現するメタバー面談の方法 不登校児が沢山話したくなるメタバーでの工夫。



先生の運用実現性が高く、不登校児が何度も来ることができる メタバースである意味のある授業開催

解決内容

孤立の解消
教室への参加

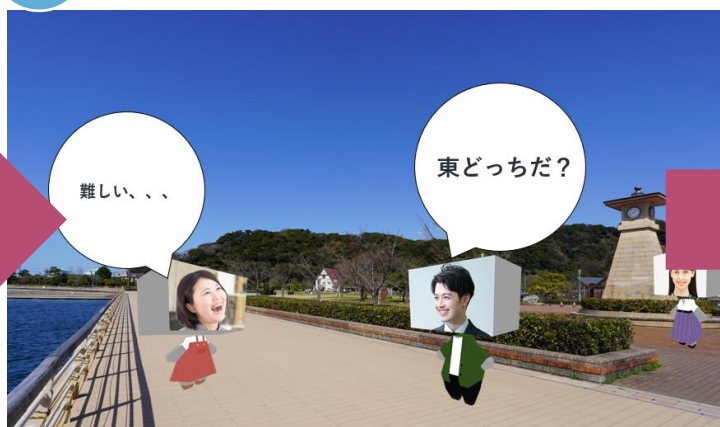


1 複数でも会えるように・話ができるようになる



オンラインで楽しめる空間を設置することで、複数人でのコミュニケーションにも参加できるようになる。また、楽しいイベントで声を出す必要性を創り出すことで話をしたり、声を出す訓練にもなる。

2 先生も運用しやすいオンライン授業



課題は録画されたメタバースコンテンツの視聴。アクティブラーニングコンテンツで楽しみな課題を提供できる。実際の授業はWeb会議を使用したものだから、講師の方もいつもの通り授業を実施できます。楽しいメタバースと論理的な授業ができるWeb会議の融合した授業の展開。

興味関心を高める場所が不登校解消に重要

明日もう一度行きたいと思ってもらえる
場所（ハード）と学び（ソフト）ができるラーニングルーム



ここに来ると
楽しい体験
できるよね。

学校に
来れてない人
には僕が対応



実際の学校運営に合わせたオンライン空間の設計 無理なく運用でき、満足度も高く効果につながりやすい

■メタバース空間の全体設計

満足度も高く、不登校解消の効果にもなりやすいメタバース空間の設計をいたしました。

(1) メタバース入口 (3D1人)

バスで当校できることで通学体験の継続



(2) メイン会場 (2D1人)

全てのポータルになる空間



授業 (3)



①メタバース授業 (3D複数)



Web授業 (2D複数)
※提案には含みません。



②③リアルタイム360度配信 (3D複数) Youtube動画含む

散策 (4)



学校内散策・地域散策体験 (3D1人・ライブ配信)
地域内の10か所を自由に散策

展示 (6)



①②メタバース展示ルーム

生徒の作品をメタバース内に展示。家族も作品見ることが可能に。



③④リアルタイム360度配信 (展示ルーム)

展示物等をリアルタイム配信
※PCとカメラは (3) の物を流用

インタメ (5)





インタメゾーン (3D1人・複数)

オンラインの中で友達と楽しくコミュニケーションしながら遊べるゾーン

実際のメタバース不登校を実施した先生方の声

不登校支援
メタバース

自信をもってくれる メタバース	ずっとつながる メタバース	話をしてくれる メタバース	みんなと一緒に メタバース	教室に行きたくなる メタバース	不登校解消
<p>【感想】 メタバースが学校提供のPCに触れる機会になり、それからPCで色々と調べたりするようになった。</p>	<p>【感想】 オンラインで自分の存在に気づいてもらうと嬉しかったらしく、アクションを沢山していた。</p>	<p>No1</p> <p>【感想】 はじめて生徒の笑顔を見ることができました。</p>	<p>【感想】 スゴロクで不登校児と校長が仲良くなってました。</p>	<p>【感想】 オンラインで音楽室を視聴して翌週は音楽の授業に参加していました。</p>	<p>【感想】 学校で講師にPC等を教えてくれるようになりました。</p>
	 <p>生徒</p> <p>先生</p>			 <p>ご両親</p>	
<p>【効果】 自分の作品などを多くの人に見てもらい、自己肯定感の向上。</p>	<p>【効果】 孤立の解消につながり、先生と生徒との間でコミュニケーションができるようになる。</p>	<p>【効果】Web会議との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い面談数の実現。 ・長時間の面談の実現。 ・Web会議よりも子供から話したいテーマが出てくる。 	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の人と面談ができるようになる。 ・担当の先生以外とのコミュニケーションが可能になる。 	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出可能となり、支援ルームに参加しやすくなる。 ・支援ルームから通常クラスに参加しやすくなる。 	<p>【効果】 不登校の解消になるだけでなく、自分の居場所や強みも持つことができる。</p>

本当はもっとみんなと話をしたい

はじめて生徒の笑顔を見れた！

学校での出来事を楽しく話してくれる

リアルやオンラインを超える効果 リアルバーチャル



会社名	リアルバーチャル株式会社
所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号 渋谷道玄坂東急ビル2F-C
連絡先	050-5479-7274
代表	金谷 建史
設立	2016年10月4日